

国内で豚コレラが続発

11月16日に岐阜県の養豚農場(1例目の発生農場から8km離れた場所)で豚コレラの2例目の発生が確認されました。

◆豚コレラの病状

発熱、元気消失、食欲減退、便秘、下痢、結膜炎、歩行困難。複数頭の豚で流死産。強い感染力と高い死亡率を特徴とします。

◆豚コレラの伝播

唾液、涙、糞尿中にウイルスを排泄し、感染豚や汚染物品等との接触等により感染が拡大する。

◆豚コレラの治療法

治療法はありません。
汚染国ではワクチン接種を実施しています。

◆日本国内では平成4年の最終発生以降、国内清浄化し、現在、ワクチン接種を実施していません。

◆飼養衛生管理基準に基づき、人、車両の消毒、健康観察と異常豚の早期発見、早期通報、生肉を含むまたは含む可能性のある飼料の適正使用、野生動物との接触防止の徹底をお願いします。